

## 株式会社ツルハホールディングス&クラシエホールディングス株式会社 県内市町村社会福祉協議会への車いす寄贈式



(株)ツルハホールディングス及びクラシエホールディングス(株)から岩手県内の市町村社会福祉協議会6か所に車いす10台が寄贈されることとなり、3月27日ふれあいランド岩手で寄贈式が開催されました。

寄贈に当たって、(株)ツルハホールディングス北店舗 半澤剛運営本部長から、「クラシエホールディングス(株)と一緒に、今後もより多くの車いすを寄贈できるように取り組んでまいります」と挨拶がありました。

目録を受け取った岩手県社会福祉協議会右京昌久事務局長は「平成20年から毎年寄贈いただき、長年ご支援いただいていることに感謝いたします」とお礼の言葉を述べました。

(株)ツルハホールディングス及びクラシエホールディングス(株)では、店舗を展開している地域の役に立ちたいとの願いで、平成20年から岩手県社会福祉協議会を通じて、岩手県内の社会福祉施設及び市町村社会福祉協議会への車いす寄贈を行っています。

## マックスバリュ東北株式会社

## 2017年度黄色いレシートキャンペーン助成金贈呈式



マックスバリュ東北株式会社(佐々木智佳子代表取締役社長)から、2017年度黄色いレシートキャンペーン助成金贈呈が行われることとなり、岩手県内の2事業所、4団体に総額483,900円が助成されました。

4月6日の贈呈式では、同社岩手事業部 柴山俊夫事業本部長が「各団体の今後の活動に助成金をお役立ていただければ幸いです」と挨拶。受領者の社会福祉法人江刺寿生会ワークセンターわかくさ利用者の後藤充也さんに助成金の目録を贈呈しました。

後藤さんは「いただいた助成金は、私たちの活動に役立たせていただきます。本当にありがとうございます」とお礼の言葉を述べました。

黄色いレシートキャンペーンは、「福祉の増進を図る活動」など、5分野で活動する団体の方々に応援するもので、1999年に開始。以来毎年実施されています。

## 岩手銀行労働組合

## 書き損じはがき寄贈式



岩手銀行労働組合(加入者1,051名)の佐々木泰洋執行委員長と及川泰宏書記長は、2月27日に岩手県社会福祉協議会を訪れ、書き損じはがき352枚を寄贈しました。

同労組は、「いわて車いすフレンズ」活動が始まった2003年度から支援しており、書き損じはがきの累計寄贈枚数は8,500枚を超えています。寄贈は今回で14回目となりました。

佐々木執行

委員長からは「車いすフレンズの活動を応援しています。これからも応援し、他にもお役にたてることがあれば協力したいです」と挨拶がありました。

書き損じはがきを受け取った岩手県社会福祉協議会の根子専務理事は「車いすフレンズを継続して支援していただきお礼申し上げます。車いすの修理を行う高校生のボランティアと岩手銀行労働組合のボランティアの輪が繋がり、今後も活動が続いていくことを願っています」とお礼の言葉を述べました。

「いわて車いすフレンズ」は、岩手県内の工業高校生などが、使われなくなった車いすや一部が破損した車いすを修理し、車いすを手に入れることが難しい東南アジア諸国を中心に贈る活動です。

書き損じはがきは、日本社会福祉弘済会を通じて換金され、修理した車いすを海外に輸送する際の日本国内の空港や港までの輸送費の一部に役立てられます。

## 岩手県遊技業協同組合

## 岩手県障害者作業所連絡協議会への寄付金贈呈式



岩手県遊技業協同組合(秋山照明理事長)からの寄付金贈呈式が3月7日、ふれあいランド岩手で行われました。

贈呈式では、同組合の菊池均専務理事から「寄付は社会貢献という形で始め、ホールにいらっしゃるお客様のおか

げで続けることができました。これからも可能な限り支援を継続していきます」と挨拶があり、岩手県社会福祉協議会の根子忠美専務理事に目録が贈呈されました。

根子専務理事は「継続して支援いただきありがとうございます。支援に感謝し、障がい者団体のために有効に使わせていただきます」とお礼の言葉を述べました。

岩手県遊技業協同組合では、平成17年度から岩手県社会福祉協議会を通じて、岩手県障害者作業所連絡協議会に寄付金を贈呈しており、贈呈額の累計は今回の20万円を加え450万円に達しています。

平成30年度 <http://www.fukushihoken.co.jp> ふくしの保険 検索

# 全国200万人加入!! 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

## ボランティア活動保険



### 対象となるボランティア活動

- ◆グループの会則に則り企画、立案された活動であること（グループが社会福祉協議会に登録されている必要があります。）
  - ◆社会福祉協議会に届け出た活動であること
  - ◆社会福祉協議会に委嘱された活動であること
- ※活動のための学習会または会議などを含みます。  
※自宅などとボランティア活動を行う場所との通常の経路による往復途上を含みます。（自宅以外から出発する場合は、その場所と活動場所への往復途上となります。）

### 保険金をお支払いする主な場合

- 清掃ボランティア活動中、転んでケガをして通院した。（ケガの補償）
- 活動に向かう途中、交通事故にあって亡くなられた。（ケガの補償）
- 活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になって入院した。（ケガの補償）
- 家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花瓶を落としてこわした。（賠償責任の補償）
- 自転車でボランティア活動に向かう途中、誤って他人にケガをさせた。（賠償責任の補償）

### 保険金額・年間保険料（1名あたり）

		Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	1,400万円
	後遺障害保険金	1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)
	入院保険金日額	6,500円	10,000円
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円
		外来の手術	32,500円
	通院保険金日額		4,000円
	特定感染症の補償		上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額（保険金額）に同じ
賠償責任の補償	葬祭費用保険金 (特定感染症)	300万円 (限度額)	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円 (限度額)	
年間保険料	基本タイプ	350円	510円
	天災タイプ※ (基本タイプ+地震・噴火・津波)	500円	710円

（※）天災タイプでは、天災（地震、噴火または津波）に起因する被保険者自身のケガを補償します（天災危険担保特約条項）が、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

## ボランティア行事用保険（傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険）

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償！  
● 行事参加者（主催者〔個人〕を含みます。）全員のケガを補償 ● 行事主催者の損害賠償責任も補償

## 送迎サービス補償（傷害保険）

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償！  
● 送迎・移送サービス利用者を特定したAプラン  
● 送迎・移送サービスのための自動車を特定したBプラン

## 福祉サービス総合補償

（傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険（オプション））  
ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償！  
● 在宅福祉サービス（公的介護保険対象外サービスを含みます。） ● 障害福祉サービス ● 児童福祉サービス ● 障害者地域生活支援事業 ● 地域福祉サービス ● 介護保険サービス など

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

**団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会**  
〈引受幹事〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL: 03 (3349) 5137  
受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、12/31～1/3を除きます。）

**取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス**  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763  
営業時間：平日の9:30～17:30（12/29～1/3を除きます。）

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

（SJNK17-16975 2018.1.9 作成）

広報誌「パートナー」は本会のホームページでもご覧になれます。  
お問い合わせは岩手県社会福祉協議会総務部まで ☎019-637-4466 <http://www.iwate-shakyo.or.jp/>